２０２１年度
認定NPO法人ブリッジフォースマイル
事業方針

１、基本方針

2021 キーワード　　＜社会的インパクト＞　＜人材の確保、育成＞　＜財政基盤強化＞

近年、社会的養護を取り巻く環境が大きく変化しています。B4Sの活動もこれから誰にどのような価値（社会的インパクト）を提供するのか見直しを迫られています。限られた人材、予算でも効果を発揮できるよう、優先順位や必要に応じて事業の縮小廃止を決めるなど、実効性の高い事業推進を目指します。

寄付募集の大きな懸案であった団体HPリニューアルが完了し、寄付を募集する準備が整ったことから、今後はより戦略的に広報活動を実施し、財政基盤の強化に取り組みます。

また、人材確保、育成については、スタッフやサポーターが長期継続することが支援の質の向上に欠かせないため、継続できる環境づくりを目指し、引き続き取り組みを進めます。

２、トピックス

▪社会的インパクトの可視化

PwCコンサルティング合同会社の有志社員5名のご支援（約5か月間、業務時間の中から週5時間程度を活用）により、『社会的インパクトを可視化するプロジェクト』を実施します。

B4Sの活動が社会の中で具体的にどのような成果をもたらしているのか、B4Sの活動の成果を可視化することで、団体の存在意義を高め、寄付の増加やスタッフの定着を図ることが期待できます。また、団体のミッションと照らし合わせながら、複数あるプロジェクトそれぞれの社会的意義を再定義し、活動の優先順位や方向性を見直し、決定することに活用していきます。

さらにその進捗、成果を計測し、PDCAを回すことができるよう、KPI、KGIを設定し、運用することを目指します。

▪kintoneを活用した退所者トラッキング調査

施設退所者一人ひとりの進路や自立支援の状況について、1年に1度、10年間継続して施設職員にアンケートを行う「全国児童養護施設　退所者トラッキング調査」は、今年2年目を迎えます。昨年は146施設から集まった2,560人分の退所者データを集計・分析しました。

今年からは回答システムをkintoneに一本化することで、施設職員の回答への負担を軽減するとともに、回答内容の精度を向上させます。また内容も、施設のアフターケア実施状況の聴取等を強化し、自立支援の現状を更に明らかにすることを目指します。

調査は6月から開始し、8〜10月の分析期間を経て、11月に完成、プレスリリースすると共に、回答した全国の施設職員を招き、結果報告および意見交換会の実施を予定しています。

▪ファンドレイジングの戦略と効果検証の確立

団体の財政基盤を安定させるため、中長期をみすえた戦略とPDCAを回すための効果検証方法を確立します。B4Sは支援方法、メニューが多種多様であり、目先の資金、ボランティアの必要性に駆られてこれまで継続寄付会員（1口1000円/月）を集めるための取り組みが後回しでした。新しいウェブサイトというツールが揃ったタイミングで、露出・新規流入を増やし、寄付者やボランティアなど多様な支援協力者のロイヤリティを高める施策を計画します。同時に施策を正しく効果測定するためのセッティングも行います。支援方法が複数あることやボランティアが大勢いるという特性を強みと捉え、これを活かした継続寄付会員につながる戦略を目指します。